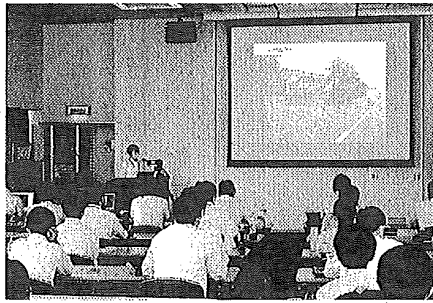


最優秀は久保さん

建コン協九州の  
若手技術者交流会



建設コンサルタンツ協会九州支部（田中清支部長）は8月25日、福岡市の八重洲博多ビルで、2022年度若手技術者交流会を開いた。写真。会場70人、オンラインを含め160人が参加し、14人の若手技術者が日ごろの研究成果などを発表した。審査の結果、

久保朋也さん（東京建設コンサルタンツ）の「気候変動を考慮した河川整備基本方針の変更について」が最優秀賞に選ばれた。

冒頭、あいさつした真間修一総務・企画部長は「自分の発表を通して過去の仕事を客観視するとともに、他者の発表から自分が携わっていない分野を知ること、技術の研さんを図ってほしい」と呼び掛けた。

発表会は、質疑応答を含め1組15分の持ち時間で発表した。優秀賞は、浦上なるみさん（日建コンサルタンツ）の「農村地域ならではの冠水要因とその対応策」、新田寛野さん（アジア航測）の「霧島山火山における降灰後の土石流に対する緊急減災対策」、坂本将さん（三井共同建設コンサルタンツ）の「樋管無動力化設計業務、体系的整理に

よる無動力化推進」、金光渚さん（長大）の「歩道幅員が狭隘な地方市街地幹線道路における電線共同溝の設計」だった。

このほかの発表テーマと発表者は次のとおり（敬称略）。

- ▽洪水浸水想定区域図の作成、矢矧川水系▽白水達也（九州建設コンサルタンツ）
- ▽一次元河床変動計算を用いた土砂・洪水氾濫対策施設の検討▽光永海斗（オリエンタルコンサルタンツ）
- ▽道路拡幅困難地域における道路概略設計▽加藤美沙（協同エンジニアリング）

▽リモートを活用した調査業務について▽坂田充輝（親和コンサルタンツ）
- ▽白川における塩水遡上形態把握と潮止堰改築の影響検討▽吉川寛朗（建設技術研究所）
- ▽都市計画道路における道路予備設計業務▽平田卓（共同技術コンサルタンツ）
- ▽海岸耐震性能調査業務▽阿南沙織（復建調査設計）
- ▽地盤改良施工済み箇所における迂回路舗装構成の検討について▽吉田昌弘（高崎総合コンサルタンツ）
- ▽市街地における橋梁拡幅設計について▽大城進太郎（扇精光コンサルタンツ）。